



森林環境教育ネットワークメールマガジン 第198号 (平成 30 年 10 月 5 日)



( 目 次 )

- 1 <林野庁プレスリリースから>  
平成 30 年度「木づかい推進月間」の実施について  
～木の香りで、心も体もリラックス～
- 2 <全国森林レクリエーション協会から>  
「山の日」記念 水源の森を訪ねる ー多摩水源の村 小菅ー参加者の募集
- 3 <コラム> 森林環境教育の現場から(139)
- 4 <森林・林業白書から> 構造や内装材に木材を活用した保育所が都心部に開園
- 5 <樹をとりまくはなし>(19) 街路樹のタコノキとトックリキワタ
- 6 <イベント情報>  
◆檜原村で薪づくり体験～数馬の湯の薪をつくろう！～  
☆ 事務局から



森林環境教育ネットワーク <http://www.shinrinreku.jp/feenet/index.html>  
《バックナンバー<http://www.shinrinreku.jp/feenet/php4/mlbk/index.php>》  
《イベント情報の登録・閲覧 <http://www.shinrinreku.jp/feenet/einfo/>》  
一般社団法人全国森林レクリエーション協会 <http://www.shinrinreku.jp>



- 
- 1 <林野庁プレスリリースから>  
平成 30 年度「木づかい推進月間」の実施について  
～木の香りで、心も体もリラックス～
- 

[木下]林野庁は、平成 17 年度から、木材を利用することの意義を広め、国産材利用を拡大していくための国民運動として、「木づかい運動」を展開しています。

特に、10 月は「木づかい推進月間」としており、今年も様々なイベントが全国各地で開催されますので、是非御参加頂き、「木」のある暮らしを送ってみましょう。

1 概要

日本は国土面積の約 3 分の 2 を森林が占める、世界でも有数の森林国です。森林面積の約 4 割は人が木を植えて育てた人工林で、現在、戦後に造林された多くの人工林が、本格的な利用期を迎えています。人工林の資源量は年々増加しているにもかかわらず、十分に使われていないのが現状です。

木材を使うことは、「伐って、使って、植えて、育てる」という人工林のサイクルの一部です。十分に成長した木を伐って使い、また新たに苗木を植え、育てていくことで、未来につながる森林の持続的なサイクルが保たれます。林野庁では、木材を利用すること

の意義を皆さんに知っていただき、暮らしの中に国産材製品を取り入れて、日本の森林を育てる運動として、「木づかい運動」を展開しています。今年も、10月を「木づかい推進月間」として、各地で様々なイベントが集中的に開催されます。

「木づかい運動」の詳細については以下のホームページを御覧ください。

<http://www.rinya.maff.go.jp/j/riyou/kidukai/top.html>

## 2 実施期間

平成30年10月1日(月曜日)～31日(水曜日)

## 3 実施主体

林野庁、関係省庁、地方公共団体、関係団体、NPO法人等

## 4 具体的な取組内容

### (1)推進月間中の主なイベント等

木づかい推進月間中に開催されるイベント等の主なスケジュールについては、末尾の<添付資料>「平成30年度木づかい推進月間中の主なスケジュール」を御参照ください。

注) その他、各都道府県等が実施主体となり、全国で様々なイベントや普及活動が行われます。木工ワークショップなど、参加型のイベントも多数あります。イベントについては、「木づかい・木育イベント情報」のページ

(<http://www.rinya.maff.go.jp/j/riyou/kidukai/event/Sep2018.html>)を御参照ください。

### (2)アンテナショップにおける取組

本年度の木づかい推進月間には、各都道府県や店舗等の協力により、複数の都内アンテナショップでの木づかいイベントが実現。多くの方に各地の地域材の良さを触れて感じていただけるよう、地域材を活かした製品の展示・販売や空間の御紹介を予定しています。

詳細は「木づかい推進月間」のページ

(<http://www.rinya.maff.go.jp/j/riyou/kidukai/gekkan.html>)から御覧ください。

### (3)広報誌への記事掲載

林野庁情報誌「林野-RINYA-」9月号に、特集記事「未来に貢献する、木づかい」を掲載しました。木材を利用することで、日本の森林や地球環境のことを意識してもらうよう進めてきた木づかい運動ですが、最近では、地球環境に加え、社会貢献などにも配慮したモノやサービスを積極的に利用する「エシカル消費」という言葉も耳にするようになりました。特集では、エシカル消費と木づかい運動との関係性や、企業の木づかいの取組について御紹介したほか、木材の利用拡大に向けた企業連携の取組について御紹介、また全国で開催される木づかいのイベントについて取り上げています。掲載記事は以下のリンクを御参照ください。

<http://www.rinya.maff.go.jp/j/kouhou/kouhousitu/jouhoushi/3009.html>

## 参考

木づかいブックでは、身近に使える木製品や訪れてみたい木の施設を御紹介しているほか、木の良さや木材を利用する意義についても御紹介しています。

ブックの全体版は以下のリンクを御参照ください。

[http://www.rinya.maff.go.jp/j/riyou/kidukai/kidukai\\_book2017.html](http://www.rinya.maff.go.jp/j/riyou/kidukai/kidukai_book2017.html)

---

## 2 <全国森林レクリエーション協会から>

「山の日」記念 水源の森を訪ねる - 多摩水源の村 小菅 - 参加者の募集

---

「山の日」を記念して、山梨県小菅村において、多摩源流の小菅川沿いの森林散策及び宮林茂幸東京農業大学教授による記念講演会を開催します。

本イベントは、台風13号のため中止となった8月のイベントを改めて開催するものです。

○開催日 平成30年11月30日(金)

○場所 森林散策:山梨県小菅村小菅川溪流沿いの森林  
宮林茂幸東京農業大学教授による記念講演:小菅村公民館

○集合 JR 大月駅前 午前9時10分

○解散 JR 大月駅前 午後4時20分予定

○参加費 1,500 円(弁当及び保険料を含みます。)

小菅産の特産品等を使用した弁当を用意いたします。

○募集人員 60名

○主催 「山の日」記念行事実行委員会

((一財)日本森林林業振興会、(一社)全国森林レクリエーション協会、  
(一社)日本森林インストラクター協会)

○応募方法 下記の URL の WEB をご覧ください。WEB から応募用紙をダウンロードし、応募用紙に必要事項を記入して、(一社)全国森林レクリエーション協会まで FAX または郵送するか、氏名、年齢、性別、連絡先(住所、電話番号、メールアドレス)、参加人数、同伴者名をメールでお送りください。

○問い合わせ・申し込み先

〒112-0004 東京都文京区後楽 1-7-12 林友ビル

全国森林レクリエーション協会

TEL 03-5840-7471

FAX 03-5840-7472

info@shinrinreku.jp

---

## 3 <コラム> 森林環境教育の現場から(139)

---

北海道名寄市の郊外にある小学校で活動しました。この日は神社祭りで付けた樹名板の樹木の説明、3 日後に子ども樹木博士認定活動があります。15 本の樹木の説明が終わり、余った樹名板を皆で付けました。「イタヤカエデはあの角にあるよ！」この柳原の言葉に反応して、子どもたちは森の中を走って樹に向かいます。樹名板を取り付けた直後に、「いたい！ 蜂に刺された」4 年生の男子が倒れ込みました。すると、ミツバチくらいの小さなハチが子どもたちを攻撃します、「早くここから逃げて！」子どもたちは

一目散に山を駆け降りました。結局、4名の子どもたちが刺されています。学校に帰り、刺された後を水で洗うと直径1cmくらいに小さく腫れた真ん中に色の濃い刺し跡が見られました。その後病院に向かいましたが、幸い大したことなく塗り薬をもらって治療完了でした。後日現場に行くと、地面の枯れ木の洞からクロスズメバチ(ジガバチ)が出入りしています。その周辺に子どもたちが踏み込んだことから襲撃を受けたことになりました。徹底した下見をしなかったことを反省、秋の蜂の怖さ、いつもの場所の慣れと油断の怖さを改めて知った柳原でした。

(森林インストラクター 柳原 高文)

---

#### 4 <森林・林業白書から> 構造や内外装に木材を活用した保育所が都心部に開園

---

平成29(2017)年6月、東京都千代田区に木造の保育所が開園した。

保育所の建物は、農林水産省により事業所内保育所用及び会議室用の施設(公共建築物)として、平成28(2016)年度に整備された。構造は木造軸組構法による平屋建てで、内外装にも木材を多く利用している。土台にはヒノキ、柱にはスギを使用し、梁にはカラマツの構造用集成材を使用しているほか、耐力壁の一部にはCLT、外装にはサーモウッド注を使用している。特に、保育室の床材には30mmの厚さを持つ無垢のスギ板を使用し、木材の持つ断熱性、調湿作用、香りによるリラックス効果、衝撃緩和効果等が保育環境に活かされている。

建設地が都心部の防火地域であるため耐火建築物として建設されており、都市での木材利用のモデルとして展示効果の高い木造建築物となっている。

(平成29年度森林・林業白書 事例から)

---

#### 5 <樹をとりまくはなし>(19) 街路樹のタコノキとトックリキワタ

---

沖縄では、街路樹として使われている木がおもしろく、タコノキ(マダガスカルタコノキ)も街路樹に使うのも驚きました。立ち姿がまるでハニワだからです。支柱をまたいで、タコの足のような根が出ていて、おとなしく収まっていないのがいい。パイナップルのような実が、ばらばらと落ち、いい匂いをさせています。これ食べられないのかな?誰も食べている様子は無かったです。

あと、11月に沖縄に行ったのですが、ピンクの花が咲き乱れていたトックリキワタに驚きました。幹はトックリのように下半身が膨らんでいるのに、街路樹としても植えられていたからです。落葉してから花が咲くのに驚きました。このことを知らなければ、花が咲いて葉が落ちているので元気がない木に見えてしまいます。沖縄に行って、たくさん新規の知り合い樹木ができて、楽しくなりました。

(森林インストラクター 岩谷 美苗)

---

#### 6 <イベント情報>

◆檜原村で薪づくり体験～数馬の湯の薪をつくろう!～

---

◆檜原村で薪づくり体験～数馬の湯の薪をつくろう！～

数馬の湯では、村で作っている薪を使って温泉のお湯をあたためています。  
村で使うエネルギーを村の資源でまかなう、環境にもやさしいエコな取り組みです。  
身体を使って薪づくり体験をした後は、数馬の湯の薪のお風呂でリラックス。  
心にも身体にも環境にもやさしい薪時間の流れる檜原村でゆったりとした一日を。

[開催日] 1回目 平成30年10月20日(土)

2回目 平成30年12月2日(日)

[募集人数] 各回20名(先着順)

[参加対象] 15歳以上の方

[参加費] 無料(ただし、昼食代・数馬の湯入浴料・保険代の実費、計1,700円を各自にてご負担いただきます)

[集合] 9:30 JR五日市線 武蔵五日市駅

[解散] 17:30 ごろ JR五日市線 武蔵五日市駅

[内容] 薪作り体験、薪製造施設の見学、薪ボイラーの見学、森林の見学等

[申込方法] 参加希望日、氏名、年齢、性別、住所、電話番号、メールアドレスを記載の上、開催日の1週間前までにメールまたはFAXで。

※ご参加の方には、当日の持ち物等、追って詳細なご案内をいたします。

[イベント申込・問合せ先]

檜原村薪づくりイベント事務局

TEL:090-7260-4440、FAX:042-598-1009

E-Mail:hinohara\_maki@yahoo.co.jp

[事業に関する問合せ先]

檜原村産業環境課生活環境係

TEL:042-598-1011(代表)

[主催] 檜原村

[運営] 檜原村薪づくりイベント事務局

[協力] 檜原温泉センター数馬の湯、公益社団法人檜原村シルバー人材センター、  
檜原村やまびこ会、田中林業株式会社、株式会社東京チェンソーズ、むかしごと研究会

※本ネットワークの「イベント情報」(<http://www.shinrinreku.jp/feenet/einfo/>)にご登録  
いただいたイベントや事務局にご連絡いただいた情報等の中から紹介します。

=====  
☆ 事務局から

=====  
台風25号が近づいています。すでに沖縄地方は暴風域に入っています。今年はいくつかの台風が上陸しており、台風の当たり年と言えるでしょう。当協会も今年はいくつかの台風で悩まされ続けられました。8月8日に予定していた「山の日」記念水源の森を訪ねる一多摩水源の村 小菅一は、台風13号の影響が懸念されたことから中止になり、9月30日に実施した森林インストラクター一次試験は、試験は実施したものの、公共交通機関の計画運休などの影響もあり、多くの受験生が受験できませんでした。

